

チャレンジドの“熱い思い”を  
超一流パティシエが支える

神戸  
すういーっ  
コンソーシアム

神戸スイーツ・コンソーシアム

プロのパティシエになる!



チャレンジド(障がい者)<sup>※1</sup>の就労支援を目的に、2008年6月28日、パティシエ養成スクール「神戸スイーツ・コンソーシアム(KSC)」は開講した。主催は社会福祉法人プロップ・ステーション(プロップ)と日清製粉株式会社。

チャレンジドが働く施設や作業所では、クッキーやパンなどの菓子作りが盛んで、チャリティ販売なども行われている。そこで、せっかく身に付けた技を、本格的なビジネス展開できる技量にまで高められないかとプロップの竹中ナミ理事長は考えた。それがKSCの始まりである。2012年度、KSCは5クール目に入る。これまで4回実施したなかでつかんだ確信などを、プロップの竹中理事長と日清製粉の山田貴夫取締役・東京営業部長、そして講師陣のリーダーを務めるオーストリア国家公認製菓マイスターでモロゾフ株式会社のテクニカルディレクターである八木淳司氏の3人に語ってもらった。(構成：月刊ニューメディア編集部、写真：石曾根理倫)



4回の  
修了式から



1回目 (vol.1) 2008年



2回目 (vol.2) 2009年



3回目 (vol.3) 2010年



4回目 (vol.4) 2011年

※1 チャレンジド：神様から挑戦することを与えられた人々という意で、アメリカでは障がい者を表すときに用いられる。